

桜の友

第40号

共立女子第二高等学校同窓会
八王子市元八王子町1-710
TEL042(661)9952

会長のご挨拶

小室 洋子

同窓会会員の皆様、すっかりウイズコロナ生活に慣れてしまった感がありますが、いかがが過ぎでしょうか。

さて、コロナ禍により二年限母校創立五十周年記念同窓会を延期してりましたが、昨年十月、同窓会発足五十年記念総会・懇親会として無事開催することができましたことをご報告させていただきます。当日の様子は別頁にて紹介しておりますのでどうぞご覧くださいませ。

コロナ禍にも関わらずご出席いただきました皆様、またお祝いの言葉、近況などお寄せ下さいました皆様、お蔭様で盛会になりましたこと、心より御礼申し上げます。また開催に当たり

ご尽力いただきました校長先生を始め諸先生方には改めて感謝申し上げます。

次回の同窓会は二〇二六年秋の予定ですが、今回の同窓会での再会を機にクラス会を予定されたというお話をうかがっております。同窓会の目的は会員相互の親睦を図ることを第一としており、多少の援助もございませぬので、開催ご希望の際は事務局にお問い合わせください。詳細は「さくらつうしん」に掲載しております。

昨今、国内外を問わず、天災や人災、経済の不安が続いている状況ですが、少しでも希望を持って明るく暮らしていきたいものです。そのためにもどうぞ皆様、お身体を大切にお過ごしくださいませ。

「咲き誇る未来」を目指して

校長 晴山 誠也

卒業生の皆様、いかがお過ごしですか。日頃は母校への心温まるご支援をいただき、誠にありがとうございます。

コロナ禍という長いトンネルも、ようやく出口の光が見え始め、お互いマスクなしの素顔で接することができるようにももうすぐと期待しています。

昨年十月二十二日、京王プラザホテル八王子において同窓会総会が盛大に開催されました。世代は違えど、在校生に負けないくらいの元氣とエネルギーに溢れる卒業生の皆様との時間は、これからコロナ禍前の本校の姿を取り戻すための大きな活力源となりました。心より御礼申し上げます。

さて、三月十七日に高校第五十一回生の卒業式が行われました。マスク越しではありましたが、校歌を合唱することができ、万感胸に迫る思いがありました。ピアノの音色とともに、

光射す大講堂の扉から翔び立つ卒業生の後姿は、いつの年も忘れられないものです。

本校のホームページに「OGファイル」というコーナーがありますが、すでに五十六回に及んでいます。「この学校の良さを一言で」の問いかけに対し、多くの方々から「自然環境と人の温かさ」をあげていただいています。春の桜、初夏の新緑、真夏の入道雲、秋の紅葉、冬の大雪……。目に映る四季の変化に加え、植物の香りやそれを運ぶ風が五感を心地よく刺激します。オンラインでは体感できない、本校ならではの教科書です。そんな環境が生徒たちに与える効果は、目に見えずとも計り知れないものだと思います。

ある塾関係者の方から、本校について次のようなりポートをいただきましたのでご紹介いたします。

「アクセスの悪さが気になるが、そのデメリットを語る生徒はほとんどいない。むしろ自然に囲まれて伸び伸びと過ごせることをプラスに捉えている。卒

業生が素晴らしく、自立している人が多い。無理なく、自然に、生きる力を育む教育が土台にある。」

月夜峰の自然と、そこで展開される諸活動、心と心が触れ合う様々な機会、五十三年に及ぶ共立第二の歴史の中で、生徒と先生が築いてきた、いつまでも大切にしたい宝物だと改めて強く思います。

大講堂の扉の先に待つそれぞれの「咲き誇る未来」を実現するために、教職員一同、これからも鋭意努力してまいります。今後とも母校への熱きエールをよろしく願います。

第四十九回生 成人を祝う会

令和五年一月九日に私達四十九回生は、京王プラザホテル八王子にてお世話になった先生方にもご出席いただき「成人を祝う会」を開催しました。
ここ数年は新型コロナウイルス



スの影響により、会の中止や一部変更を余儀なくされておりました。しかし幸い感染状況も落ち着き、今回の会はほぼコロナ禍前と同じ開催内容で執り行うことができました。

高校を卒業してから会う機会がなかった同級生や先生方との久しぶりの再会を喜び、記念写真を撮り合ったり、思い出話に花を咲かせたりと笑顔が溢れる会となりました。

成人の日を迎え、それぞれに似合った美しい晴れ着を見纏う同級生の姿に、高校時代の懐



かしさを感じつつ、大人の女性らしい落ち着いた雰囲気も感じました。さらに、お忙しい中にもかかわらず、小室先生、松本先生、久保田先生、小川先生、内藤先生にお越しいただきました。会では先生方それぞれからご挨拶と新成人の私達に向けたお言葉もいただきました。

二時間という開催時間はあっという間で、閉会後も最終退場の時間まで多くの人が名残惜しそうに会場に残っていました。

今回の会を開催するにあたって、会場の手配や当日の運営をしてくださった京王プラザホテル八王子のスタッフの皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、二十年間沢山の愛情を注いで育ててくれた両親に感謝し、この共立女子第二中学校高等学校で学んだ誠実・勤勉・友愛の精神を忘れず心に刻んでこれからの人生を歩んでいきます。

第四十九回生 伊藤愛深



白亜祭の 思い出

令和四年九月十八日、十九日の二日間「Blue Youth」をテーマに掲げた、第五十二回白亜祭が開催されました。今回の白亜祭は三年ぶりに対面で実施することができました。新型コロナウイルス感染症対策の一環として、デジタルパンフレットを導入し、三密回避に努めました。受付にはテーマである「Blue Youth」にちなんで白と青の装飾を施し、白亜祭に花を添えました。久しぶりの開催ということもあり、例年以上に装飾への熱い思いが伝

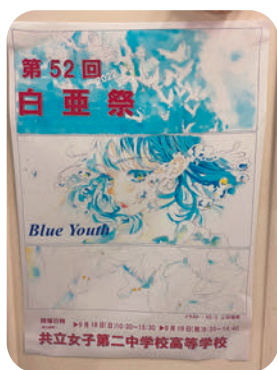


わるカラフルで、SNS映えを撮影する生徒が多く見受けられました。今回の白亜祭から、中学生も高校生と同様に企画展となりました。そのため、各フロアで個性豊かな作品やイベントが開催されており、賑わいを見せていました。今年の白亜祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食団体の出店が不可能だったため、お化け屋敷などの企画展の重複が例年より多く見られました。それぞれの団体ごとに異なる個性が出ていて、とても素晴らしいです。校舎内だけでなく、大講堂や体育館での各部活動

のイベントや企画出展など、様々なクラブが日々の練習の成果を生かしていました。

今年の白亜祭は、「C賞を中学三年二組『ばんぱかParty☆』、「A賞を高校二年三組『レトロ風縁日×男装』、Best Set賞を吹奏楽部『藤田開発吹奏楽部』、グッドデザイン賞を高校一年六組『この教室』、憑かれてるってよ。』Tシャツ賞を高校二年五組『ノグえもん』、校長賞を階段丸窓パト、全校生徒企画パト、渡り廊下・玄関パト、最後に白亜祭大賞を高校二年一組と二組『あやとりさま』が受賞しました。今回受賞した団体はもろろん、受賞できなかった団体も一丸となつて久しぶりの白亜祭を盛り上げ、大成功を収めました。

我々同窓会係も、例年と同様に休憩室を設けさせていただきました。



た。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、最小限での設置となりましたが、白亜祭に少しでも協力できたことを同窓会係一同嬉しく思います。白亜祭実行委員会をはじめ、生徒会役員の方々、先生方やお客様のおかげで、三年ぶりにふさわしい白亜祭となりました。来年の白亜祭にも、是非足を運んでいただけますと幸いです。

第五十回生

濱野舞保

西尾梨香子

榛原理子



第五十回 体育大会

令和四年六月四日、晴天に恵まれ、二年ぶりに第五十回体育大会が開催されました。四月にそれぞれ新しい学年に進級したばかりの生徒たちですが、短い時間ながらも熱のこもった準備を進めてきました。高校・中学を午前と午後に分けて実施する分割開催となりましたが、それでも学年を超えたクラス対抗の行事が戻ってきました。学校の



大きな行事としても、しばらくぶりの開催でした。そのため、生徒たちは装飾を施したメガホンや応援小道具を持って盛り上げていました。

例年の陸上競技中心の体育大会と比較すると、プログラムに簡略化や変更があったものの、今までにない大玉運びや玉入れなども行われ、楽しんで参加できる競技が目立った内容となりました。

体育大会の目玉である応援ダンスはどのクラスも魅力的でした。かっこよく踊る組、かわい

らしく踊る組など多彩です。先輩から受け継いできた旗を披露する組もありました。二年ぶりの開催であったため、先輩と後輩が一つになって踊る応援ダンスを経験した人は少数でした。しかし、今回開催できたことで、代々行っていた応援ダンスを再び取り戻すことができました。どのダンスも、新学期が始まってから、わずか二か月とは思えないほどの仕上がりで、踊り切った生徒たちは、達成感にあふれた表情をしていました。

高校三年生の体育大会での伝統である輪ダンスも行われました。この輪ダンスは、高校三年生の学生生活最後の体育大会での最後の種目ということで、生徒たちにたいへん思い入れのあるプログラムです。生徒たちは、自分たちで振り付けたダンスの練習の成果を発揮し、そして何より楽しんでやり切ったように、晴れ晴れとした表情をしていたのが印象的でした。

最後に、開校時の初代の体育科の先生が考案したという第一

回から行われている砂川体操が行われました。閉会式で校長先生が「砂川体操の音楽を聴いて、体育大会が帰ってきたと感じた」と語るほど、伝統的な体操となっていました。完全な形ではないものの、コロナ禍の前の学校に一步進むことができました。他の行事も順調に開催できる良いスタートとなることを願うばかりです。

第五十回生

田中香帆
大澤日和



同窓会懇親会

令和四年十月二十二日、同窓会発足五十周年を記念して総会・懇親会が開催されました。会場は京王プラザホテル八王子「翔王」の間でした。新型コロナウイルス感染症蔓延のため、二年延期されてきましたが、感染対策を十分に考慮して大勢の卒業生並びに学校関係者の方々



が集うことができました。出席者は

- 一回生〜五十回生 四四五名
- 現職員 二四名
- 来賓（旧職員） 一〇名

となりました。

先ず、総会では会長のご挨拶、校長先生のご挨拶がありました。次に副会長四十九回生伊藤さん、五十回生神田さんより活動報告があり、閉会となりました。

懇親会に移り、ご挨拶と乾杯のご発声を田口元校長先生にしていただきました。その後来賓の先生方の紹介がありました。竹田先生、坂内先生にはご挨拶



いただきましたが、懐かしいお話を聞きすることができました。時間の都合で、小弥前校長先生、古谷先生、遠山先生、大橋義房先生、鈴木佳子先生、橋本先生、河先眞先生、河先眞弓先生、現職の先生方にもご挨拶いただけなくて残念でした。ただ、歓談の場に入ってからは、先生方を次から次へと取り囲んで話に花を咲かせ、写真を撮るなど、まるで学生時代にタイムスリップしたかのようにほしやぎ合う姿は微笑ましく感じられました。土曜日ということも



あり仕事で欠席された先生方から頂いたメッセージや近況を載せたプリントを熱心に読んでいる姿も多く見受けられました。



歓談途中には、

二高五十周年記念式典

過去の学校紹介

現在の学校紹介

以上三本の動画も流されましたが新旧の校歌や校舎、教室の風景やクラブ活動、敷地内をドローンで撮影した動画を、懐かしんだり、感動したり、しみじみ語り合ったりと様々な思いで見入っているようでした。

名残惜しい中、閉会。記念品を受け取りながらの解散となりました。今回は限られた時間の



中、マスク越しではありましたが、旧友や恩師との歓談、デザートビュッフェも楽しんでいただけたのではないかと思います。

お忙しい中出席して下さいました先生方、先輩方、まだ学生の私たち幹事は不慣れなためいろいろとご不便をおかけしたと思いますが、良い思い出としていただけたら幸いです。次回は二〇二六年秋の予定だそうです。今度は社会人としてぜひ出席したいと思います。

第五十回生 加藤咲姫

内藤暖乃香

母校の香り

少しずつ元の日常生活が戻り、文化祭などの行事が通常通り開催されつつある中で思い出すのは、私達五十回生が主催したハイブリッド文化祭です。文化祭実行委員長だった私は白亜祭へ期待に胸を膨らませていましたが、開催は難しいのが現実でした。しかし、開催を諦めたくないという思いでオンライン開催への挑戦を決めました。初めての試みに苦戦しましたが、先生方と全校生徒の皆さんの協力のおかげで無事開催することができ、皆さんが想像以上に楽しんでくれた様子に思わず涙してしまっただのを覚えていただきます。あの厳しい状況下で開催を許可し協力して下さいました先生方、生徒の皆さんには感謝しかありません。共立の温かさ

強さを感じた行事と



して、卒業した今も私の心の中に残っています。

第五十回生 神田怜奈

恩師は語る

シリーズ三十五

国語 宮崎麻由先生



Q先生になってよかったことは何ですか？

A生徒が変わっていく、成長していく姿を見られることが一番嬉しいと感じます。大人が思っている以上にその成長幅は広く、想像を超えてくるのを感じられるのも教員の醍醐味だと思います。五十回生は、受験の後で大きく変化したのを実感しました。

Q共立の好きなところは何ですか？

A生徒と教員の距離が近いところです。生徒の時も相談相手として、あたりまえのように先生も候補にあがっていて、共立ならではのと思っています。

Q生徒と関わる中で学んだことは何ですか？

A「子どもたちは変わるから信じてあげなさい」という言葉を先輩の先生から伝えられました。そのことを生徒と関わる中で、実感しています。

第五十回生 笠井 瞳

田中史華

新しい試みをしようと主張し、開催実現のため工夫し努力を惜しまない姿が印象的でした。

理科 藤田 周先生



Qなぜ先生になったのですか。

A中学生の時の理科の先生の影響が大きいです。元々吹奏楽が好きで、理科と吹奏楽のどちらにも携わることが出来る教師になりました。

Q五組での思い出は何ですか。

A生徒の成長を感じられた受験に向けての面接練習や志望理由書の添削の日々と、コロナ禍で行事が少ない中で開催できた白亜祭です。

Q五十回生を一言で表すと何ですか。

A主任をはじめ、自由な人が多いが、「やるときはやる」学年でした。

Q吹奏楽部での一番の思い出は

何ですか。

A三十年以上続く歴史ある部活を引き継ぐことへの責任でした。

Q先生になってよかったと思うことは何ですか。

A教員でなければ関われない世代と関われることと、生徒の成長を感じられることです。

Q藤田先生の高校時代はどのような生徒でしたか。

A昼休みは毎日サッカーをして、雨が降ったら卓球をする意外と活動的な生徒でした。また、月曜日から土曜日は部活、土曜日の夜はフットサルの練習、日曜日は演奏会又は試合で多忙な日々でした。

Qこの学校の印象は何ですか。

A素直な人が多く、距離が近くて、人懐っこいことです。

Q五十回生全員とまた集まれるとしたら何をしたいですか。

Aコロナ禍で中止になり、心残りがあるので修学旅行にぜひ行きたいですね。

第五十回生 鶴田 唯

森 咲稀



§ 教職員人事 §

▽三月定年退職職員（敬称略）
谷本 恭子（養護）

§ お知らせ §

▽同期会・クラス会について

同期会・クラス会等の援助をしておりますが、希望される場合代表の方が担当までお問い合わせ下さい。（担当 湊・高島）

§ § お願い §

▽進路指導部より

「職場体験」（中三対象十一月二十一日火曜・二十二日水曜）
「社会人の体験談や生き方講演」
進路指導の一環として、右を引き受けて下さる方を求めています。ご連絡お待ちしています。（担当 萩原 進路指導部主任）

▽講師採用事前登録者募集

中学校・高等学校の教員免許をお持ちの方は履歴書を学校長宛にお送りください。状況に応じてご連絡差し上げます。

▽白垂祭を応援してください！

今年こそ従来どおり開催されることを祈っていますが、どの年代の方々にも思い出深い「白垂祭」、後輩たちの活動を何らかの形で応援していただけたら幸いです。アイデアをお持ちの方ぜひご連絡ください。お待ちしています。（担当 石井 生徒部主任）

▽住所等変更のお届け

転居先不明で郵便物が戻らないようご協力ください。住所や地番、姓名等変更の際は、会員ご本人直筆の文書またはファックスで、同窓会宛に会員番号宛名下の五桁の番号、不明の場合は卒業年と担任名を明記の上お知らせ下さい。セキュリティの関係でメールではお受けできません。なお、ご友人からの連絡はご本人に確認致します。また値上げ前の葉書でお知らせいただく際は不足分の切手をお貼り下さるようお願い致します。海外への発送等はお受けできませんので国内のご家族等のご連絡先をお知らせください。

§ 顧問より §

※同窓会へのお問い合わせ等は左記の学校の代表電話、またはファックスでお願いします。

☎ 042-661-9952
Fax 042-661-9953

※印刷物での会報誌をご希望の方はご連絡ください。

（担当 湊・宮崎）

～ 幹事紹介 ～

《第五十回生》

副会長 神田怜奈（六組）
会計 笠井 瞳（二組）
幹事 西尾梨香子（一組）
榎原理子（一組）
濱野舞保（一組）
田中史華（二組）
加藤咲姫（三組）
内藤暖乃香（三組）
田中香帆（四組）
大澤日和（四組）
森 咲稀（五組）
鶴田 唯（五組）
善方千尋（六組）

《第五十二回生》

副会長 藤原優花（一組）
会計 千葉美里（五組）
幹事 波多野実日子（一組）
竹馬 栞（二組）
羽瀬 環（二組）
射場彩歌（三組）
高橋希実（三組）
内藤煌莉（四組）
中坂夏海（四組）
小野由夏莉（五組）
高島千鶴子
湊 理香
田中元女
宮崎麻由
一條歩未

《同窓会顧問教諭》



詳しくはこちらのHPへ

<https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/univ/bokin/outline.html>



▽募金のお願い
*共立女子学園
フューチャーズ募金について
共立女子学園の奨学制度の充
実及び、教育研究活動の推進の
ために応援いただく募金制度で
す。

▽主な学校行事

- 4月5日（水） 入学式
- 6月3日（土） 体育大会
- 7月22日（土）～8月31日（木）
夏期休暇
- 9月16日（土）17日（日）白亜祭
- 10月3日（火）～10月5日（木）
中学2年ブリティッシュヒルズ研修
- 10月3日（火）～10月6日（金）
中学3年京都奈良修学旅行
- 10月3日（火）～10月6日（金）
高校2年北九州修学旅行
- 12月23日（土）～1月9日（火）
冬期休暇
- 1月22日（月） 高校推薦入試
- 2月1日・2日・4日 中学入試
- 2月10日・12日 高校一般入試
- 3月17日（日） 高校卒業式
- 3月20日（水）～春期休暇

2022年度 共立女子第二高等学校同窓会 会計報告		2023年3月31日
1.前年度繰越金	(A)	<u><u>5,394,123</u></u> 円
2.収入の部	(B)	
51回生同窓会会費		1,764,000 円
銀行利子		30 円
同窓会総会・懇親会会費		662,000 円
祝儀		30,000 円
		<u><u>2,456,030</u></u> 円
3.支出の部	(C)	
同窓会発足50年記念総会・懇親会 会合費		2,447,720 円
" 案内状印刷・郵送代		1,481,933 円
" 準備費		81,884 円
" 記念品代		759,925 円
" 撮影費		38,500 円
" 幹事慰労費		22,726 円
文化祭支援費		27,000 円
銀行手数料		2,640 円
同期会・クラス会補助		30,000 円
交通費		46,288 円
雑費		1,310 円
		<u><u>4,939,926</u></u> 円
○残高	A+B-C	<u><u>2,910,227</u></u> 円
	5,394,123+2,456,030-4,939,926=2,910,227	<u><u>次年度への繰越金</u></u>
○資産		
定期預金		<u><u>1,500,000</u></u> 円
	会計	49回生村上友里菜 50回生笠井瞳
2023年度 共立女子第二高等学校同窓会 予算書		2023年4月1日
1.前年度繰越金		<u><u>2,910,227</u></u> 円
2.収入の部		
52回生同窓会会費		<u><u>1,740,000</u></u> 円
3.支出の部		
桜の友印刷費(旧職員分)		36,900 円
" 郵送代		9,400 円
通信費		10,000 円
学校行事支援費		150,000 円
運営費		100,000 円
交通費		50,000 円
事務費		50,000 円
予備費(慶弔費、クラス会・同期会補助)		100,000 円
雑費		10,000 円
		<u><u>516,300</u></u> 円